

ルワンダ月報（２０２２年３月）

※以下は、明示的に記載されたものを除き、ルワンダ通信局（Rwanda News Agency）の記事のとりまとめ。

1. 内政・外政

- 2日、カガメ大統領が、二国間関係強化のためルワンダ訪問中のカタール軍（QAF）の Salem bin Hamad bin Mohammed bin Aqeel Al Nabit 参謀総長と面談。同参謀総長のルワンダ訪問中に、ルワンダ国防軍（RDF）とQAFは防衛及び治安に関する協力に係る覚書に署名。カガメ大統領は今年2月にカタールを訪問している。
- 3日、第5回国連環境総会（UNEA）セッションにおいて、ルワンダ及びペルーが提案した海洋プラスチック汚染対策に関する決議が採択。
- 3日、カガメ大統領が、キガリで開催されている第8回持続可能な発展に関するアフリカ地域フォーラム（ARFSD）に参加。同フォーラムは、国連アフリカ経済委員会（ECA）、ルワンダ政府の共催で、アフリカ連合委員会、アフリカ開発銀行等とも連携して開催されている。
- 3日、ビルタ外相が、ARFSD参加のためルワンダ訪問中のモハメッド（Amina Mohammed）国連副事務総長と面談。コロナを含む世界的課題や、世界の平和と安定、今年エジプトで開催予定の第27回気候変動枠組条約締約国会議（COP27）等について協議。
- 4日、ルワンダ国民の60%がワクチン接種完了。
- 4日、今年9月5～9日にキガリで「アフリカ緑の革命フォーラム（AGRF）」会合を主催予定。ンギレンテ首相が議長。
- 5日、カタール航空アカデミー（QAA）とルワンダ航空旅行ロジスティクス（ALT）が航空能力強化に向けた協力関係構築ための覚書に署名。
- 5日、カガメ大統領が、ARFSD参加のためルワンダ訪問中のカマリディニ（Souef Kamalidini）コモロ財務大臣と面談し、両国間の関係強化について協議。
- 7日、カガメ大統領が、ルワンダ訪問中のウマロ・シソコ・エンバロ（Umaro Sissoco Embaló）ギニアビサウ大統領と面談。また、両国の外務大臣が、経済、貿易、教育、環境保護、観光に関する協力合意に署名。
- 8日、ンガミジェ保健大臣が、英国において英国政府と感染症流行対策イノベーション連合（CEPI）が共催するグローバル・パンデミック準備会合に参加。同大臣はまた、CEPIのハエット（Richard Hatchett）CEOと、ルワンダ・バイオメディカルセンター（RBC）とCEPIによるワクチンの調査・開発・製造に関する覚書に署名した。
- 8日、ルワンダがブルンジ、ウガンダ、タンザニアとの陸路国境を2年振りに再開。一方、ブルンジは、2015年の政権転覆未遂に関与したルワンダに逃亡中の容疑者の引き渡しを要求し、ルワンダ国境を継続閉鎖。
- 10日、カガメ大統領がアベノンシ（Aurelien Agbenonci）ベナン外務大臣と面談、両

国間の協力について協議。

- 10日、キガリで第77回アフリカ議会ユニオン（UPA）執行委員会が開催。
- 11日、ビルタ外相がアンタルヤ外交フォーラム参加のためトルコを訪問。
- 14日、ウガンダのカイネルガバ・ムホージ（Kainerugaba Muhoozi）陸軍中將がルワンダを再訪。カガメ大統領と、国境におけるPCR検査費に関して等、二国間関係強化に関する協議を行った。ムホージ陸軍中將はカガメ大統領に牛を贈呈。15日にはジェノサイド・メモリアルを訪問。
- 14日、今年6月20日の週にキガリで開催するコモンウェルス首脳会議（CHOGM）に英国チャールズ皇太子夫妻が参加。
- 15日、ルワンダ国防軍（RDF）のカズラ将軍がフランスの招待によりフランス訪問。防衛分野における二国間の協力の再興と強化のほか地域及び世界的治安状況について協議。
- 16日、ビルタ外相が、パリで開催されているフランス語圏国際機関会議（CMF）第40回特別会合に参加。参加者は、民主化、治安、メディアにおける情報操作との戦い等に関する議論を行った。
- 17日、ラオ（Rao Hongwei）駐ルワンダ中国大使が離任前に与党ルワンダ愛国戦線（RPF）本部を訪問、ンガランベ（Francois Ngarambe）事務局長と会談。同大使は、2016年からの在任中、2018年に習近平国家主席のルワンダ訪問が実現したほか、2021年に二国間関係樹立50周年を迎えた。同大使は、人々を中心とするRPFの政治を中国共産党（CPC）と類似するとしつつ評価した。（The New Times）
- 18日、マハマト・イドリス・デビー・イトゥノ（Mohamat Idriss Deby Itno）チャド軍事移行評議会議長・共和国大統領・国家元首がルワンダ訪問。カガメ大統領と二国間関係について協議したほか、二国間協力合意の署名に立ち会った。
- 19日、ブクビ（Faustin Boukoubi）ガボン国民議会議長がルワンダ訪問。ムカバリサ（Donatille Mukabalisa）ルワンダ下院議長が出迎え。
- 20日、フランス語圏国際機関（OIF）の52周年を記念し、ビルタ外相が、ルワンダは今後も若者の将来を見据えてOIFを支持するとするコメントを発表。
- 22日、カガメ大統領が、理事会のためにルワンダ訪問中の国際金融センターの世界同盟（WAIFC）一行と面談。ルワンダは2020年にWAIFCに加盟し、カサブランカ、カタール、ベルギー、ルクセンブルグ、及びジャージーの金融センターとの連携を確立している。
- 22日、ルワンダが今年6月に世界電気通信開発会議（WTDC）を主催。WTDC加盟国、学術関係者、国連機関等から1,300人が参加予定。
- 23日、カガメ大統領がアカバ・プロセス会合に参加のためヨルダン訪問。会合参加に先立ち、アブドゥラー2世・ヨルダン国王とも面談。アカバ・プロセス会合は、ルワンダが派兵しているモザンビーク情勢等、南東アフリカの治安を分析するためにヨルダン国王が主催する会合。
- 24日、米国のザナ（William Zana）アフリカの角担当司令官がルワンダ国防軍（RD

F)を訪問。RDFと米国アフリカ軍(USAFRICOM)の協力についてのほか、地域の過激派に関する懸念等について協議。

- 25日、カガメ大統領がヨルダンに引き続きエジプトを訪問し、エルシーシ・エジプト大統領と面談。エルシーシ大統領は、経済、貿易、治安、軍等の分野における両国の戦略的協力の強化に向けて意欲を示すとともに、AUの枠組み内における両国間の連携・協議・意見交換等の強化に加え、両国間の合同委員会を可能な限り早期に招集する意向を示した。また、インフラ、保健、教育等の開発分野において、エジプト企業による投資や、能力強化のための技術移転等を通じてルワンダを支援する意思があるとした。カガメ大統領は、貿易及び経済協力の分野で二国間関係を発展させたいとし、エジプトによる能力強化のための技術協力やインフラ分野におけるエジプト企業の支援に関心を示した。両大統領はまた、ルネサンスダムに関してを含む地域情勢についても協議。ルネサンスダムについては、地域の治安と安定の促進のため、国際法と安全保障理事会の決定に基づき、然るべく時間枠内に関係国が同ダムの稼働について合意する必要があると強調した。また、ナイル川流域国の協力強化のための建設的効果的な対話の重要性が確認された。
- 27日、ビルタ外相がTICAD8準備会合に参加。経済、社会、平和と安定について協議した。
- 29日、ビルタ外相が米国を訪問。シャーマン(Wendy Sherman)国務副大臣、フィー(Molly Phee)アフリカ担当事務次官補と、貿易、投資、平和と治安、気候変動等に関する協議を行った。
- 29日、カガメ大統領が、オンライン開催されたEAC首脳会合において、コンゴ(民)の東アフリカ共同体(EAC)加盟を歓迎すると発言。
- 29日、ジンバブエで開催されているルワンダ・ジンバブエの貿易及び投資促進会議において、両国が貿易及び投資に関する3つの覚書に署名。
- 30日、UNHCRがリビアから移送した亡命希望者119名がルワンダに到着。
- 30日、ンギレンテ首相がドバイで開催されている世界政府サミットに参加。持続可能な開発目標の実行に関するセッションで閉会挨拶を行い、持続可能な開発目標(SDGs)の達成のため、国際金融機関、市民社会、民間セクターが協働する必要があると述べた。
- 31日、来月離任するラオ(Rao Hongwei)駐ルワンダ中国大使がThe New Times紙のインタビューに答え、中国国家主席の初のルワンダ訪問となった2018年の習近平主席の訪問や、コロナ禍における中国の対ルワンダ支援等を邂逅。また、カガメ大統領が以前に、中国の財政支援が協力関係に新たな道を開いたと発言したと言及しつつ、中国による協力に「債務の罠」はなく、現地の人々に資する「経済のパイ」を提供していると述べた。(The New Times)

2. 開発協力

- 2日、ルワンダとドイツが気候及び開発パートナーシップに署名。
- 10日、2日間の開発パートナー・リトリートが開催。議長を務めるンダギジマナ財務・

経済計画大臣は、開発パートナーと連携してコロナ禍の苦境からより強固に回復するための方策を協議したいと述べた。

- 12日、中国在住のルワンダ人が、脆弱な537世帯に対する太陽光発電システム供与のために8,215米ドルを寄付。ルワンダ開発銀行（BRD）が実施する電気のない世帯のための電化キャンペーンの一環。
- 16日、今井大使が、日本が支援した道路プロジェクト視察のため、ルスモ-カヨンザを訪問。
- 17日、今井大使が、ウォーターエイド・ジャパンとキレヘ郡における水衛生プロジェクトの無償資金協力を署名。
- 19日、世界銀行のマニエル（Armando Manuel）理事等がンギレンテ首相を訪問。ルワンダの開発における機会及び課題や、世銀との協調関係強化について協議。世銀側は、ルワンダが世銀が支援するリソースを効率的に活用していると評価。
- 21日、フランス開発庁（AFD）とルワンダ開発銀行（BRD）が連携協定に署名。
- 23日、国連人口基金（UNFPA）がルワンダ・バイオメディカルセンター（RBC）に対し、家族計画のための物資及び命を救う医薬品140万7,000米ドル相当を供与。
- 29日、日本がUNHCRに対し、マハマ難民キャンプに居住する難民及びホストコミュニティのための保健サービスに118万米ドルを支援。
- 29日、ベルギー開発庁（Enabel）が、国家産業研究及び開発機構（NIRDA）及びルワンダ開発銀行（BRD）に対し、養豚・養鶏・家畜飼養バリューチェーンにおける小規模農家及び中小企業への投資促進を目的とした総額180万ユーロ相当の無償を実施。
- 31日、フランス開発庁（AFD）がキガリに事務所を開設。AFDは2019年から2億1,800万ユーロの対ルワンダ支援を行っており、事務所開設により、ルワンダとの関係をさらに強化することが見込まれる。AFDは今後2年間に2億ユーロの支援を実施予定。

3. 経済

- 23日、ルクセンブルグにおいて、在ベルギー及びルクセンブルグ・ルワンダ大使立ち会いのもと、ルクセンブルグ証券取引所（LuxSE）とルワンダ証券取引所（RSE）が、両取引所の長期的協力と、アフリカにおける持続的な金融開発に向けた金融サービスに関する協力のための覚書に署名。

以上